

		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
主な到達目標		外国語や情報処理、キャリア科目などを通じて、社会において生きていくのに必要な幅広い教養と技能や、専門教育の前提となるような基本的知識を修得する。法学の入門的な知識を修得する。		専門教育の前提となる幅広い教養を引き続き修得しながら、各法分野の基礎となるような法の全般的知識を修得する。		各法分野の基本的な知識の修得を前提として、さらに各自の関心の応じて、応用的な様々な法や原理を発展的に修得する。また専門演習で特定の領域の専門知識をさらに深く研究し、それを他者に対しても発信できるようにする。			
基礎教育科目	基礎科目	基礎科目・キャリア教育科目							
	外国語	外国語 1 外国語 3	外国語 2 外国語 4	外国語 5	外国語 6				
	基礎専門科目	基礎情報処理・法学・社会学・経済学など							
専門教育科目	基礎科目	憲法・刑法入門 法学・民法入門 政治学入門	憲法概論 民法ⅠA 刑法ⅠA	憲法Ⅰ 民法ⅠB 民法ⅡA 民法ⅣA 刑法ⅠB 刑法ⅡA	憲法Ⅱ 民法ⅡB 民法ⅣB 刑法ⅡB	民法ⅤA 民法ⅢA 民法ⅣC	民法ⅤB 民法ⅢB		
	公法系			行政法ⅠA 刑事訴訟法A	行政法ⅠB 刑事訴訟法B	行政法ⅡA 刑事政策 税法A	行政法ⅡB 司法福祉論 税法B 刑法Ⅲ	比較憲法A	比較憲法B
	私法系			企業取引法A 会社法A 民事訴訟法A 著作権法A	企業取引法B 会社法B 民事訴訟法B 著作権法B	企業決済法A 民事執行法A 知的財産法A 環境法A	企業決済法B 民事執行法B 知的財産法B 環境法B	国際取引法A 倒産処理法A	国際取引法B 倒産処理法B
	社会法系			労働法A 社会保障法A	労働法B 社会保障法B	集团的労働関係法 経済法A	経済法B		
	基礎法系			法哲学A 西洋法制史A	法哲学B 西洋法制史B	法思想史A 日本法制史A ローマ公法	法思想史B 日本法制史B ローマ私法	法社会学A 比較法A ジェンダーと法A	法社会学B 比較法B ジェンダーと法B
	国際法系			国際法ⅠA	国際法ⅠB	国際法ⅡA 国際連合論 国際私法A	国際法ⅡB 国際人権法 国際私法B	イスラム国際法A	イスラム国際法B
	演習系	基礎演習A	基礎演習B	専門演習ⅡA	専門演習ⅡB	専門演習ⅢA	専門演習ⅢB	専門演習ⅣA	専門演習ⅣB
	選択科目	法律特講・特習系科目・国際政治系自由選択科目・関連学系科目							

→ 履修順序